

ステップ1

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【3】ていねいな話し方
タイトル (教材名)	ていねいな話し方①
目的 身につけてほしい力	会話時の基本的な態度を知る(相手の正面に立ち向かい合う位置関係が正しい事を知る)
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>対面時と相手が横もしくは後ろを向いている時の会話のしやすさを知るために、対面、横顔に向かって、後姿に向かってそれぞれ会話を行う。その後、どの位置関係が会話しやすかったか感想を言う。</p> <p>例：「〇時〇分までに△△に集合してください。」 「明日の予定を教えてください」 「次の休み時間何して遊ぶ」</p> <p>どの位置関係でも声のトーンや表情(笑顔が望ましい)を同じようにして会話を進める。</p>
教材の使用方法	会話の内容は提案や連絡事項的なものにすると感想を言いやすい。位置関係だけでなく、視線を変える(目を合わせる、目をつぶる 視線を合わせない)やり方もある。
その他	自閉スペクトラム症の方は視線を合わすのが苦手な方がいるので配慮する。

ステップ2

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【3】ていねいな話し方
タイトル (教材名)	ていねいな話し方②
目的 身につけてほしい力	語尾によって相手の印象が変わる事を知る。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>内容は同じであるが、語尾が違う言葉(文字)を見聞きしてその印象が変わる事を知るために字幕付のドラマを見て考える。</p> <p>「日本語字幕で見られる邦画」で検索するとたくさんの邦画が出るので活用する。</p> <p>例：この場面で「お願いします」ではなく「頼むわ」といったらどうなるだろう？ 引き受けてくれると思う？</p> <p>どうしてこの人は相手にていねいな言葉を使っているのだろう？</p> <p>どうしてこの人は相手の言葉に対して怒っているのだろう？</p> <p>どうして「失礼します」と言って部屋に入っていくのだろう？</p> <p>どうして「はい」と言いながらお辞儀をするのだろう？</p> <p>自分に向けられた言葉がていねいな場合とそうでない場合で印象がどう違うか考えてみる。</p>
教材の使用方法	主観的な回答が出やすいので、「どうしてそう思う？」などの質問をして自分の感じ方を客観的な捉えができるようにする。
その他	

ステップ3

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【3】ていねいな話し方
タイトル (教材名)	言葉の通訳
目的 身につけてほしい力	言葉をていねいな言葉に変えることができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>日常対象児童生徒がよく使う言葉を書き出し、ていねいな言葉に書き直す作業をする。</p> <p>例：「面倒くさい」⇒「今忙しくてできません」 「うるさい」⇒「静かにしてください」 「わからん」⇒「難しいです」 「先生ちょっと、ちょっと」⇒「先生お話があります」 「やめて」⇒「やめてください」</p> <p>書き換えた言葉を使って実際にロールプレイをしてそのよさを体感する。</p>
教材の使用方法	言葉に意図を一緒に考えながら、どういけばいいのかを考えていく。 例：「うるさい」と言うのは静かにしてほしいということですね。
その他	